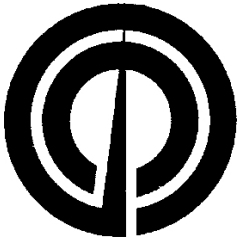


地域資源マップ 3 班



せいゆう ①

地元のスーパーマーケット肉、野菜、魚、お菓子などを品ぞろえている。
都農ワインなども置いていた。価格は少し高いと感じた。
豆腐屋さんが配達にきており、その豆腐屋さんは、明治24年創業で、油揚げに加工したり、商品を学校、老人ホーム、保育所に届けているそうだ



地域資源

コミュニティバス ③

コミュニティバスが通っていた。休日は運休、路線は三本で時刻は各路線一本のみとかなり少ない。利用料金は一人200円と固定されている。しかし障害者手帳をお持ちの方は半額。他のバス停も1日に一本。



課題

ビニールハウス ⑤

ニラを育てていた。農家の方をにお話によると、この辺り一面を家族でやっているとお聞きした。4月20日から植え始め、6月10日頃に収穫するそうだ。
ニラ農家の方は現在67歳で、20歳から農家をしており、息子が継ぐ予定であるらしい。最近の物価高に苦しんでいるようだった。

地域資源・課題

ソーラーパネル②

都農町は日照時間が長く、天気も荒れにくい
ためソーラーパネルによる発電はすごく効果的である。
また、豊かな自然への影響も少なく都農町にあった発電方法である。



地域資源

養鶏場 ⑧

都農町では畜産が盛んであり、養鶏場があった。ここでは食肉用の鶏を育てているようだ。気候が温かく作物が豊富だからこそ育てやすいんだと私は考える。



地域資源

神社 ⑨

(正式名称不明)
老朽化が進んでいたが公衆トイレが増築されていたり、祭りが年に一回あるなど地域のの人に愛されている神社



地域資源・課題



GRILL POPEYE ④

内装はレトロで、サンドイッチやドリア、チキン南蛮など、メニューの種類は豊富だった。若者から年配の方まで幅広い年齢層の人が来店していた。

地域資源

廃墟 ⑥

廃墟がいくつもあった。取り壊しもできず残されているようだ。状態も悪く、町の治安や安全の観点からも撤去が望ましいと思われるが、立地・金銭的に困難なのかもしれない。



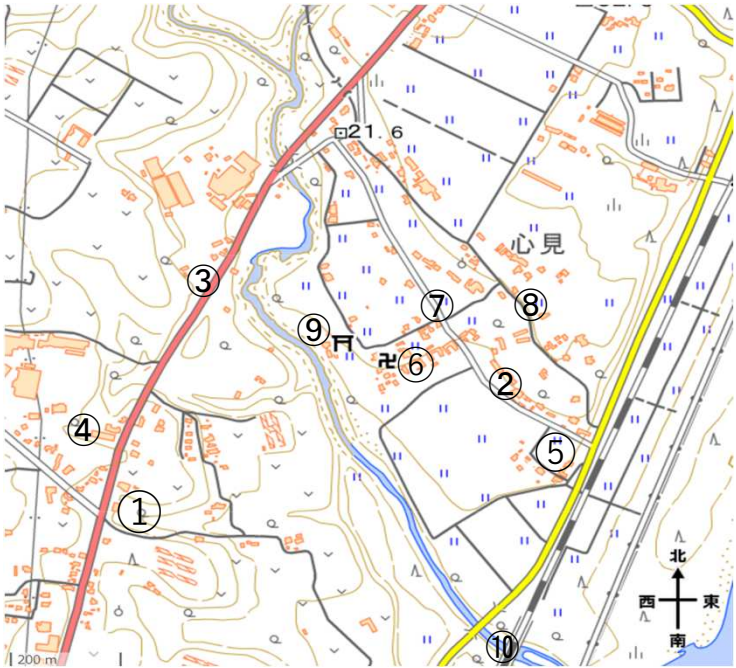
課題

田んぼ ⑦

田んぼや畑がたくさんあった。どこもきれいに保たれており、爽快感が見られた。田んぼはこの地域の景観づくりにも役立っている。

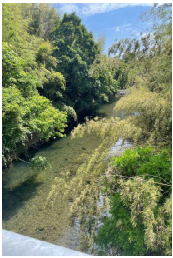


地域資源



心見川 ⑩

橋から透明度の高いきれいな川を見ることができた。周りは木で覆われており、空気が澄んでいた。近くには、ソーラーパネルが設置されていた。



地域資源

今回の実習を通して、都農町の現状について肌で知ることができた。
この地域にはコンビニがなく、国道沿いにある「せいゆう」が最も近いスーパーだった。しかし、東都農駅から向かうとかなり遠く、子供や高齢者は移動が困難であるように思えた。また、家庭にある田畑の多さや、直売所が設置されているのを見ると、農業が盛んであることも分かる。一方で建物の老朽化や廃墟の未解体など、インフラや安全面での課題も多いのを見て取れた。
調査を進める中で住民の方とすれ違うことが少なく、屋外で農作業をしていたニラ農家さん、「せいゆう」の店員さんとお客さんの計三名にお話を伺えた。インタビューの中で「つのコインの利用範囲が拡大したことで生活が便利になった」というお話があった。つのコインは今後の都農町の発展、住民の方々の生活の利便化に活用できるだろう。さらに、豊かな農作物がある都農町の魅力を外に発信する手段としても、つのコインを活用できると考える。